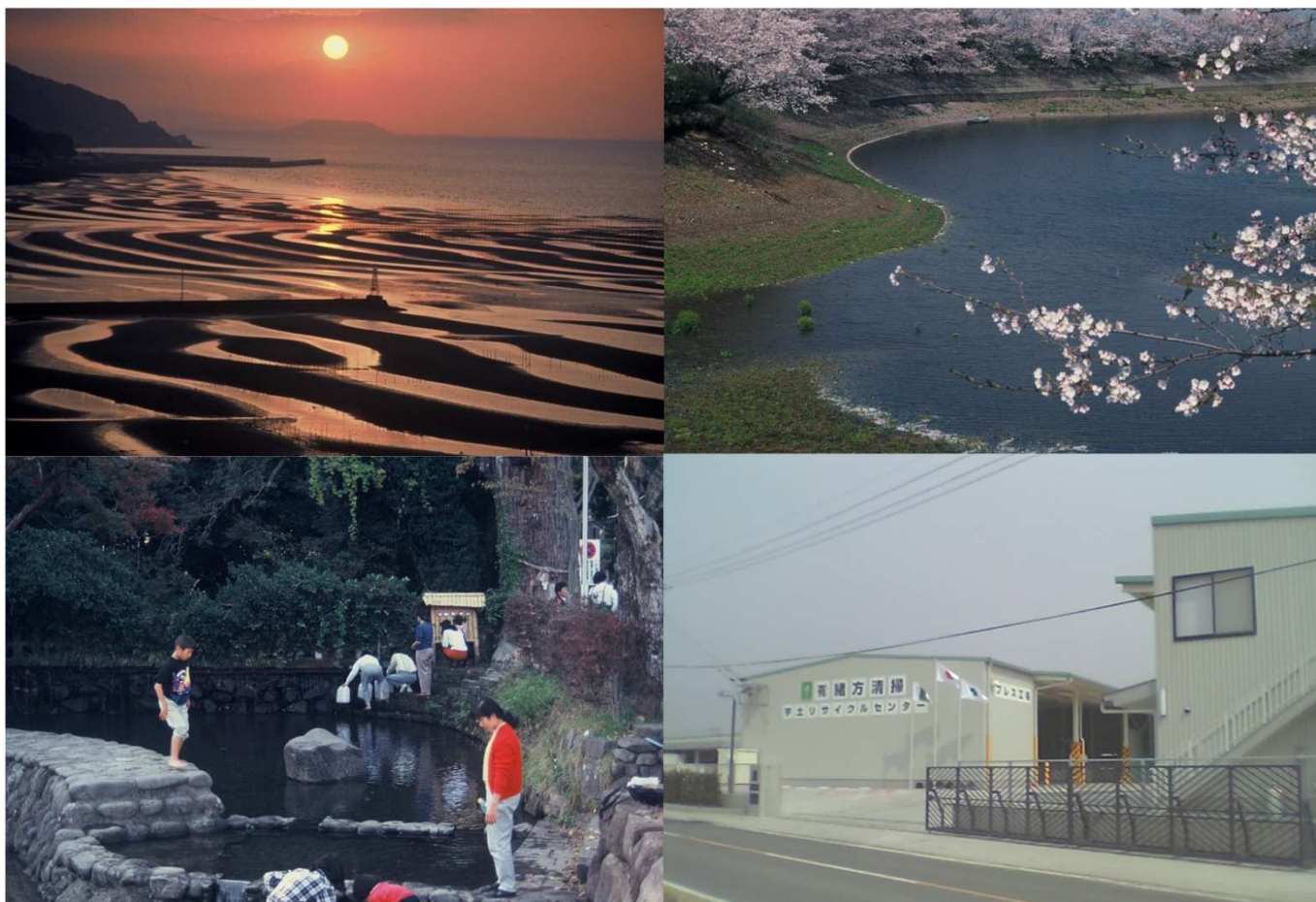


エコアクション21

環境活動レポート

(第5版)

取組期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日



3R ～for the Earth～ 『ひとつしかない地球のために』

有限会社 緒方清掃

《 環境方針 》

有限会社緒方清掃は、地球環境保全の為、環境との調和を最優先にし、地域社会の健全で快適な生活に貢献する事業活動を進めます。

< 行動指針 >

1. 循環型社会形成の為、廃棄物の発生抑制・再使用・再資源化につとめる。
1. 副資材・備品等の購入は、グリーン購入を推進する。
1. 地球温暖化・大気汚染の防止のため、輸送の効率化・エコドライブ・アイドリングストップの実施につとめる。
1. 適切な水使用を心がけ、節水の徹底につとめる。
1. 環境関連の法律・省令・条例その他当社が同意した要求事項を厳守する。
1. 地域社会とのコミュニケーションを大切にする。
1. この環境方針を、全従業員に周知するとともに、社外に公開します。

平成18年6月15日制定

有限会社 緒方清掃

代表取締役社長 緒方 政春

会社概要

【会社名 及び 代表者氏名】

事業所名 有限会社 緒方清掃
代表者氏名 緒方 郁夫

【法人設立年月日】

平成6年4月13日

【資本金】

600万円

【所在地】

本社 熊本県宇土市馬之瀬町186番地
工場 熊本県宇土市新開町東開1895-32
(宇土リサイクルセンター：認証登録事業所)

【所在地】

ホームページ <http://www.ogata-clean.co.jp>

【環境管理責任・担当者氏名 及び 連絡先】

環境管理責任・担当者 緒方 郁夫
住所 熊本県宇土市馬之瀬町186番地
連絡先 電話：0964-23-2518
FAX：0964-23-2983
E-Mail：ogata@ogata-clean.co.jp

【事業内容】

- 一般廃棄物、産業廃棄物の収集及び運搬業務
- 一般廃棄物、産業廃棄物の中間処理及びリサイクル業務
- 一般廃棄物及び産業廃棄物収集用具の売買、リース事業
- 一般廃棄物、産業廃棄物の中間処理及びリサイクルの仲介、斡旋、代行業務
- 古紙、空瓶、ガラス屑、廃プラスチック類の集荷選別加工販売事業
- 古紙、空瓶、ガラス屑、廃プラスチック類に関する収集、選別、加工処理受託事業
- 機密書類の、収集、運搬、中間処理業務
- 鉄類、非鉄金属類、プラスチック類、びん類、その他有価物の回収及び加工処理、販売業務
- 質量に係る計量証明事業
- 古物商

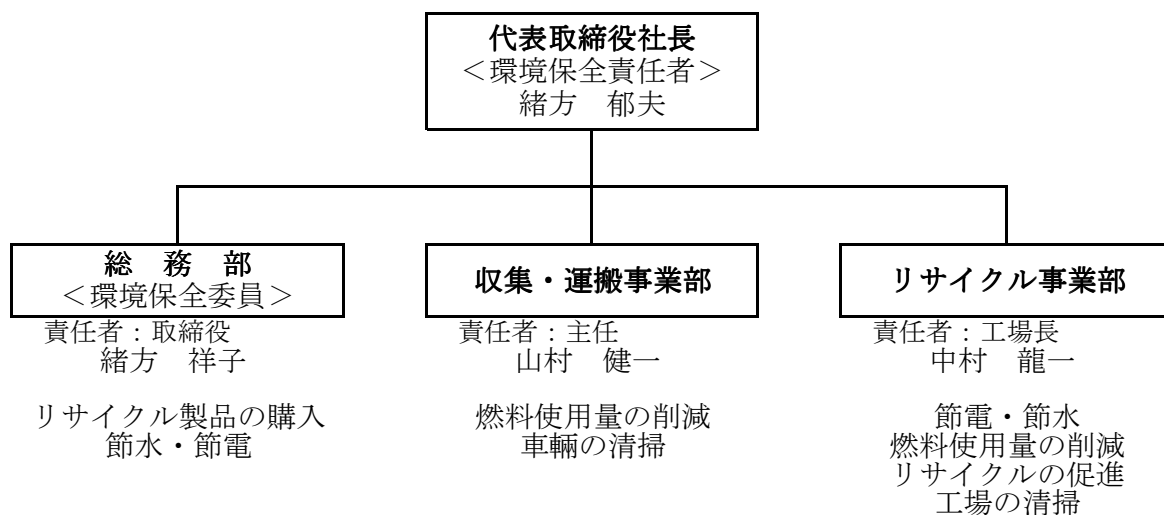
【沿革】

昭和55年2月 緒方 政春 個人事業開始
 宇土市一般可燃ごみ収集・運搬委託業務
 昭和61年4月 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物
 収集・運搬業務開始
 平成6年4月 法人化 有限会社 緒方清掃
 資本金300万
 平成9年4月 宇土市資源ゴミ、収集・運搬委託業務
 平成15年4月 宇土市生ごみ、収集・運搬委託業務
 平成18年3月 宇土リサイクルセンター竣工
 平成20年6月 資本金600万円に増資
 平成23年6月 代表取締役社長を緒方郁夫に変更

【事業会計年度】

4月1日 期首 3月31日期末

【組織図】



【事業規模】

活動規模	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
収集運搬量	t	1616.5	1919.1	3925.2	3202.8	3089.3	3246.1
中間処理量	t	—	1506.5	2608.8	4064.7	3253.1	2889.7
売上高	百万円	49	74	124	153	112	121
従業員	人	8	8	11	11	12	12
床面積	m ²	849.83	2833.36	2833.36	2833.36	2833.36	2833.36
車両台数	台	13	13	15	15	15	15

備考) 平成18年度から宇土リサイクルセンターが開設。
 平成18年度以前は自宅(本社)で事務作業をしていたため、
 本社の環境負荷等の数値の把握は出来ない。

【許可等】

詳細は、産廃情報ネット情報開示システムの情報公開ページをご参照ください。

<http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/preview.php?Param1=6&Param2=21888&Param0=027050>

〔産業廃棄物〕

産業廃棄物処分業許可 熊本県 第4320027050号
(許可日) 平成23年5月9日
(許可期限) 平成28年5月8日

特別管理産業廃棄物収集運搬業

熊本県 第4350027050号
(許可日) 平成22年2月13日
(許可期限) 平成27年2月12日

熊本市 第8152027050号
(許可日) 平成22年12月25日
(許可期限) 平成27年12月24日

産業廃棄物収集運搬業

熊本県 第4300027050号
(許可日) 平成22年2月13日
(許可期限) 平成27年2月12日

熊本市 第8102027050号
(許可日) 平成22年12月25日
(許可期限) 平成27年12月24日

〔一般廃棄物〕

一般廃棄物処理施設設置許可

熊本県 選一 1号
(許可日) 平成18年1月23日

熊本県 圧一 4号
(許可日) 平成18年1月23日

一般廃棄物処理（選別）業許可

宇土市 第1号
(許可日) 平成22年5月12日
(許可期限) 平成24年5月11日

一般廃棄物処理（圧縮）業許可

宇土市 第2号
(許可日) 平成22年5月12日
(許可期限) 平成24年5月11日

一般廃棄物収集運搬業許可

宇土市 宇城市 嘉島町 城南町

〔その他〕

廃棄物再生事業者登録 熊本県 再生第52号
(登録日) 平成18年6月14日

計量証明事業所登録 熊本県 第141号
(登録日) 平成18年3月31日

古物商許可 熊本県公安委員会
第931170000764号
(許可日) 平成16年11月18日

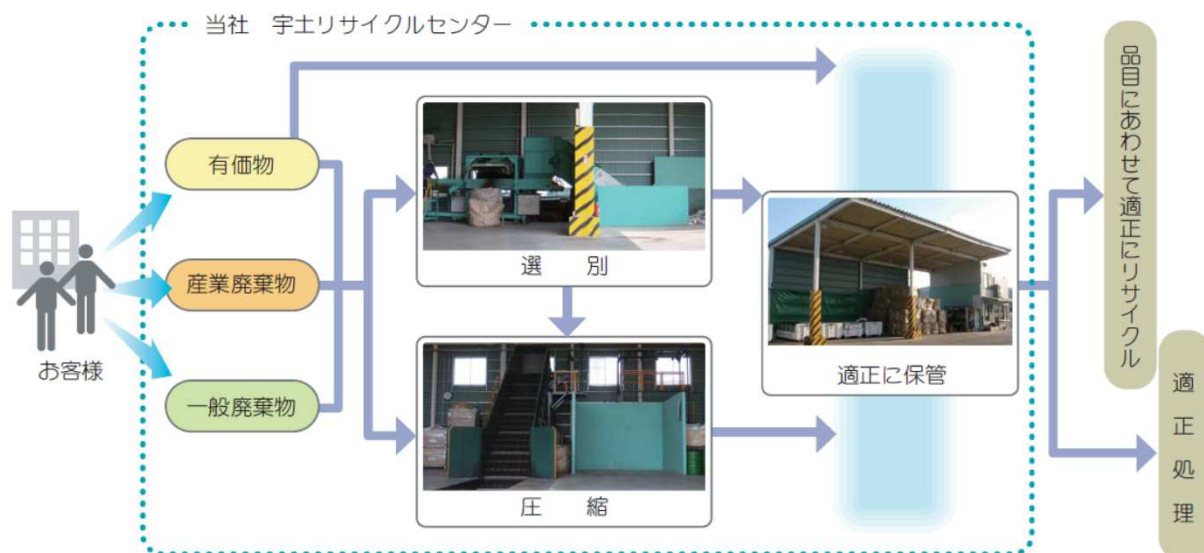
【事業概要】

○収集運搬

- ・塵芥車 3台
- ・着脱装置付コンテナ専用車 1台
- ・ダンプ 1台
- ・バン 1台
- ・キャブオーバー 4台

対象物	有 価 物	金属類（鉄、非鉄）、古紙、古布、ビン・缶・ペットボトルなど
	産 業 廃 棄 物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくずおよび陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物の糞尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物 (熊本県及び熊本市産業廃棄物収集運搬業許可)
	特別管理産業廃棄物	感染性産業廃棄物 (熊本県及び熊本市特別管理産業廃棄物収集運搬業許可)
	一 般 廃 棄 物	事業系一般廃棄物 (宇土市、宇城市、嘉島町及び城南町一般廃棄物収集運搬業許可)

○中間処理：宇土リサイクルセンター



所在地	熊本県宇土市新開町東開 1895-32			
対象物	有 価 物	金属類（鉄、非鉄）、古紙、古布、ビン・缶・ペットボトル		
	産 業 廃 棄 物	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず、ゴムくず、木くず、紙くず、繊維くず（以上、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く） (熊本県産業廃棄物処分業許可)		
	一 般 廃 棄 物	事業系一般廃棄物 (宇土市一般廃棄物処分業許可)		
施設概要	選 別 施 設	72.0t/日 (8時間)	圧 縮 施 設	71.2t/日 (8時間)

【処理料金】

種類・性状・数量確認後、御見積致します。

【環境目標】

環境目標は、収集運搬及び平成18年度より開始した中間処理（宇土リサイクルセンター）に分けて、平成21年度の環境負荷を基準に設定した。

○収集運搬

収集運搬による総エネルギー投入量及び二酸化炭素排出量は、廃棄物の収集運搬量と関連があるため、収集運搬1tあたりの量で目標を設定する。

項目		単位	H21年度 (基準)	H22年度	H23年度	H24年度
総エネルギー投入量	収集運搬 1tあたり	MJ/t	351.9	348.4 (-1%)	344.9 (-2%)	341.3 (-3%)
二酸化炭素排出量	収集運搬 1tあたり	kg-CO2/t	24.1	23.9 (-1%)	23.6 (-2%)	23.3 (-3%)

※削減率は平成21年度比

○中間処理（宇土リサイクルセンター）

中間処理による総エネルギー投入量及び二酸化炭素排出量は、廃棄物の中間処理量と関連があるため、中間処理1tあたりの量で目標を設定する。

また、水資源投入量は収集運搬と中間処理の仕事量に関連があるため、収集運搬＋中間処理の1tあたりの量で目標を設定する。廃棄物等はリサイクル率で目標を設定する。

項目		単位	H21年度 (基準)	H22年度	H23年度	H24年度
総エネルギー投入量	中間処理 1tあたり	MJ/t	148.2	146.7 (-1%)	145.2 (-2%)	143.8 (-3%)
二酸化炭素排出量	中間処理 1tあたり	kg-CO2/t	7.12	7.05 (-1%)	6.98 (-2%)	6.91 (-3%)
水資源投入量	(収集運搬＋ 中間処理) 1t あたり	m3/t	0.0459	0.0459	0.0459	0.0459
廃棄物等	リサイクル率	%	92.9	92.9	92.9	92.9

※削減率は平成21年度比

【環境活動計画】（H22年度）

1) 廃棄物のリサイクル

(リサイクル部)

- ・製品や効率の良い廃棄物の選別手法等について従業員の教育を徹底し、選別精度及び製品の品質を向上させる。
- ・リサイクルできていない廃棄物の新たなリサイクルルートを確立する。
- ・書類の電子化によって紙資源を削減する。
- ・機密文書のリサイクルルートを確立し、紙のリサイクルを徹底する。
- ・工場内のごみは資源であることを再認識し、清掃を徹底して資源に回す。
- ・顧客に対し、選別の大切さについての啓蒙活動を実施する。

2) 温室効果ガス排出削減

(リサイクル部)

- ・パソコンの電源管理を徹底する。
- ・冷暖房の温度管理（夏場：28℃、冬場：20℃）を徹底する。
- ・必要のない照明の消灯を徹底する。

(収集・運搬部)

- ・収集運搬時の積込作業をスムーズに行い、輸送の効率化を図る。
- ・プレス機を有効に活用して減容化し、輸送の効率化を図る。
- ・アイドリングストップを実施する。
- ・積載量を厳守する。
- ・定期的にタイヤの空気圧を管理する。

3) 水使用量の削減

- ・洗濯は、1日1回まとめて当番が行う。
- ・洗車は、1回の使用量を決めて行う。
- ・車両の下回りは水洗いし、ボディはタオル拭きする等、必要などころのみ水を使用する。

4) グリーン購入

- ・コピー用紙は、再生紙を購入する。
- ・制服は、再生ポリエステル使用の製品を購入する。

5) 取組実施の向上

- ・月1回を目途に勉強会を開催し、廃棄物・有価物の最新情報を共有化する。
- ・勉強会に合わせ、環境活動の報告・見直しを実施する。
- ・車両点検を定期的に行う。

6) 地域社会との協調

- ・行政と協力し、地域社会への3Rの推進と啓発活動を行う。
- ・地域の美化活動に積極的に参加する。

【取組結果と評価】

○収集運搬

下表に示すとおり、収集運搬1tあたりの総エネルギー投入量及び二酸化炭素排出量は、いずれも目標を達成できていない。これは、営業範囲を広くしてたことで、1回の運搬距離が伸びたためと考えられる。

項目	単位	実績					目標	達成	
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			
総エネルギー投入量	総量	MJ	988,757	1,111,381	1,017,811	1,087,033	1,171,548	—	—
	収集運搬1tあたり	MJ/t	515.2	283.1	317.8	351.9	360.9	348.4	×
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO2	67,662	76,022	76,022	74,361	80,166	—	—
	収集運搬1tあたり	kg-CO2/t	35.3	19.4	21.7	24.1	24.7	23.8	×

○中間処理（宇土リサイクルセンター）

下表に示すとおり、中間処理1tあたりの総エネルギー投入量及び二酸化炭素排出量は、いずれも目標を達成できている。これは、中間処理量の増加によって効率の良い処理が出来るようになったためと考えられる。

水資源投入量についても、目標を達成できている。

また、選別精度の向上と、新たなリサイクルルートの確率により、リサイクル率も目標を達成できている。

項目	単位	実績					目標	達成	
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			
総エネルギー投入量	総量	MJ	299,020	403,862	403,862	482,172	419,976	—	—
	中間処理1tあたり	MJ/t	198.5	154.8	143.6	148.2	145.3	146.7	○
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO2	12,618	17,160	17,160	23,176	19,394	—	—
	中間処理1tあたり	kg-CO2/t	8.38	6.58	6.80	7.12	6.71	7.05	○
水資源投入量	総量	m3	165	356	340	291	278	—	—
	(収集運搬+中間処理)1tあたり	m3/t	0.0485	0.0568	0.0468	0.0459	0.0453	0.0459	○
廃棄物等	収集運搬量	t	1,919	3,925	3,203	3,089	3,246	—	—
	中間処理量	t	1,507	2,609	4,065	3,253	2,890	—	—
	リサイクル量	t	1,376	2,597	4,027	3,333	3,333	—	—
	単純焼却・埋立処分量	t	157	234	222	256	195	—	—
	リサイクル率	%	89.8	91.7	94.8	92.9	93.4	92.9	○

※中間処理量と（リサイクル量+単純焼却・埋立処分量）の差は、工場内ストック分を出荷したため。

※リサイクル率＝リサイクル量／（リサイクル量+単純焼却・埋立処分量）×100%

【環境関連法規】

No.	内容	取組期間 チェック結果	備考
1	環境関連法令等の違反	無	
2	訴訟の有無	無	
3	環境に関する苦情等の有無	無	

【代表者による見直し】

- ・平成23年度より、週1回、朝礼を行い、様々な情報についての意見交換を行う。この中で、廃棄物・有価物の最新情報等を共有化する。
- ・収集運搬の環境目標を達成できていないため、エコドライブ講習会を開催し、収集運搬による環境負荷を低減する。